

# 平成 27 年度 第 36 回 大学院セミナー

平成 27 年 9 月 3 日

講座名 (責任者名)(内線)	展開医療科学講座 腫瘍外科学 責任者名( 永安 武 ) 内線( 7304 )
演 題	ハイブリッド医療人養成コース 臨床先端医療機器特論 人工赤血球(ヘモグロビンベシクル)製剤の 有用性と安全性
講 師 等	奈良県立医科大学医学部化学教室 酒井 宏水 教授
概要	<p>人工赤血球の第一人者である酒井 宏水教授をお迎えし、これまでの開発の経緯や今後の研究、臨床応用への展開についてご講演をいただきます。</p> <p>人工赤血球(Hb-V)は輸血治療を補完する製剤として開発され、感染源を含まず、血液型が無く、長期間の常温保存が可能であることを特徴としています。これまでに、Hb 精製工程、効率の高い Hb 内包法の確立、脂質膜成分の改良、動物投与試験を経て、現行の製剤を確立されています。</p> <p>出血性ショック蘇生液や、体外循環回路(人工心肺)の充填液など、輸血代替としての効能のみならず、摘出臓器の長時間灌流液、脳梗塞や有茎皮弁の低酸素領域への酸素供給、腫瘍組織の放射線増感剤として研究利用され、或は一酸化炭素を結合させた抗炎症剤として、新しい利用法も提案されています。</p> <p>また、今年度からは AMED の支援を受けながら、実用化に向けて開発を進める計画も持たれております。</p> <p>ご興味のある方々のご参加をお待ちしています。フリーにご参加ください。</p>
開催日時	平成 27 年 9 月 18 日(金) <b>18:00 ~ 19:00</b>
場 所	<b>第 6 A 講義室(歯学部本館(C 棟)6 階)</b>
備 考	時間と場所を変更しました。

先端医療科学特論(基礎編)

先端医療科学特論(臨床編)

先端新興感染症病態制御学特論

先端放射線医療科学特論